最新 売れ行き BEST本

☆印は初登場!!
2005.7.1〜7.31
TTCネットワーク月間データ
(東京都内〈小社営業圏〉の売れ数)

		書名	著者名	本体	配本日	前月順
↑	1	ケアマネジャー基本問題集05(上)	介護支援研究会	1600円	05.5.20	2
↑	2	ケアマネジャー基本問題集05(下)	介護支援研究会	1800円	05.5.20	3
☆	3	ケアマネジャー実戦予想問題05	介護支援研究会	2600円	05.6.30	New
↑	4	なぜ「話」は通じないのか	仲正 昌樹	1600円	05.6.16	6
↑	5	J.C.オカザワの下町を食べる	J.C.オカザワ	1600円	05.6.23	18
↑	6	普及版 数の悪魔	エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	8
	7	しあわせのねだん	角田 光代	1400円	05.5.20	1
	8	声をなくして	永沢 光雄	1800円	05.5.20	4
	9	人生の特別な一瞬	長田 弘	1600円	05.3.25	5
↑	10	「治安国家」拒否宣言	斎藤貴男・沢田竜夫	1700円	05.6.23	20
↑	11	小説は電車で読もう	埴草 基一	1400円	05.6.22	12
	12	自分の仕事をつくる	西村 佳哲	1900円	03.9.30	11
↑	13	ファンキー・ジャズの勉強	埴草 基一	1400円	05.6.22	15
☆	14	シネマディクトJの映画散歩 イタリア イギリス篇	埴草 基一	1400円	05.7.22	New
	15	シネマディクトJの映画散歩 フランス篇	埴草 基一	1400円	05.7.22	New
☆	16	ジャズは海をわたる	埴草 基一	1400円	05.7.22	New
	17	鳥はみずからの力だけでは飛べない	田口 ランディ	1400円	05.4.27	7
	18	大脳のいのしし狩り	イーリイ	2400円	05.6.16	10
↑ | 19 | 毎日ワールド・ミュージック1998−2004 | 北中 正和 | 2400円 | 05.6.29 | New |
☆ | 20 | 柳田國男の絵葉書 | 田中 正明 編 | 4800円 | 05.6.30 | New |
↑ | 20 | 考える練習をしよう | バーンズ | 1650円 | 85.3月 | 23 |

おとなも必見! あの傑作『オトナ帝国』の監督の本です!

7/20配本

アニメーション監督 原恵一

浜野保樹 著

本体2300円

ISBN4-7949-6697-6

かくして「オトナ帝国の逆襲」と「戦国大合戦」は日本映画の名作となった!

大人も泣かせる傑作『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレツ! オトナ帝国の逆襲』そして『嵐を呼ぶアッパレ! 戦国大合戦』の監督、原恵一の映画術に感動したこんだ浜野教授がその表現と制作現場に肉迫する力作です!

世界の音を聴いてみよう!

毎日ワールド・ミュージック 1998-2004 北中正和 著

6/29配本

北中正和 著

本体2400円 ISBN4-7949-6675-X

地中海、バルカン半島、アイルランド、トルコ、キューバ…ブラジル…世界の音楽は多様で力強く、優しい。社会の必然から生まれるワールド・ミュージックの魅力を、実感をこめてつづる コラム&名ガイド!

これからできる本トピックス

販促にぜひ活用ください

アサガオの種 さしあげます!
(お店の雰囲気POPっぽ)

8/18配本予定の近刊
『命のアサガオ 永遠に』

この本に書かれている、骨髄バンク運動を広める一覧として書かれている アサガオの種 お帰様配布用にお送りします。別紙FAX注文書にて申込みください。

命のアサガオ 永遠に

晶文社 これからできる本 8〜9月

丹俣まゆこ、神津優『命のアサガオ 永遠に』
ラーキン『ミャンマーという国への旅』
マクテエン『迷明家はみども!』
アルバートソン他『40代なんて怖くない!』
ゴルリ等編『大倉陶園創成ものがたり』
宮内喜久『前川國男 建築の詩』
★ 植草甚一スクラップ・ブック シリーズ 34 35 37
石川直樹『金元の装備を知恵に国を換えること』
小野紘世『アメリカン・コミックス大全』(仮)
若野 彩『RAW COMMUNICATION』
四方田犬彦『ブルース・リー』(仮)
若林香里『緑の島のアーユルヴェーダ』(仮)
ベルク『コーラン再読』
福富清敏『霞が関の正体』(仮)
リッチー『クライムマシン』 晶文社ミステリ
★ 植草甚一スクラップ・ブックシリーズ 34 35 36

月刊 営業の友 NO.5

遅日は猛暑と熱帯夜の続く8月、皆様お元気でしょうか。夏バテ気味の山野に鳴き入れる虫いちのこえは、**辛いカレー!** カレーといえば、あのんに関ろう! というわけで今回は神田小川町、外国文学や歴史書で知られるH社を皮切りに訪ねる。現在、営業部に所属するKさんは、著店さんや出版関係者にも、よく知られるカレーなぞ。それもマニアというより**カレー**名人と呼ばれたいくらいだ。入社以来12年間、営業マンまわりていた頃は、首都圏から全国まで、担当エリアのどこでも、カレー屋に行けるように、店データを書き手帳(PDAというらしい)に入れ、日夜、食べ歩いていた。昨年はじめに営業所に来てからは外に出る機会が減り**「カレー率」**が落ちましたが、というが、そんな昨年でも年間100食くらい、一昨年は年間250食位、だいたい3日に2〜3食は摂っている計算になるらしい。

インドへ、なんどもなく日本人としては、結構なカレー巻と言えよう。Hさんの目的は神田神保町、**古本とカレーのメッカ**である。Kさんおすすめの店も教えあう中、その日37度の熱帯夜に負けた我々は最も近い**(エチオピア)**に入った。昼時ではなくここも、もちろん旨い。**人間**河合下左端点から、JR水道橋駅へ向かう通り沿いの左側、交差点から1分足らず。赤いテント看板に書の文字が目立ち、色は濃いめ、スパイシーで、さらっと食べられる3辛カレー、野菜カレーの辛さ2倍 930円を頼む。Kさんは**チキンカレー**の辛さ20倍 880円を注文。蓋に盛ったポテトのバター付きと、デザートにシャーベットも付く。味は各人個別のもの。旨いかどうかのデータ収集だけでなく、自身も本格的に料理する彼のカレー通宝のきっかけはそもそも何だったのか? と聞くと、2冊の本を取り出して見せてくれた。1つは『東京カリー番長の神保町カレーガイド150』(文芸春秋)、もう1冊は『小説町』、浦部研『**カレーなる季節**』だ。「まず**『カリー番長』**の出た2002年、それ以降、第一次カレーブームが起きまして**カレー好**が刺激されたんですよ。男ばかりなんですけど…。そして200年、この本(『カレーなる季節』)が出てからが第二次カレーブームです。これはおいた、**(1)**冊ですね!!」Kさん、ありがとう。名人にそこまで言われるとは小説の本も奉仕です。Kさんはこの本のレシピを参考、おうちでの幼稚園用バザーにも出て大好評。今ふと思ってよく作るという。南インドのサラムとしたカレーを紹介した本書は、おいしいとに身体にもいい、さらに「毛ねばさよーく炒める必要はない、というのが良いですねー」と名人絶賛。皆様もよろしくお願いします。ところで、カレー粉は何でやっているんですか? 「以前ほど食べに行けなくなりましたが、以前から自社サイトでカレー粉の通販をお始めました。月2回更新してます」今のテーマは**薬膳カレー**。H社は今年で創立90周年! 小田島雪雄面白デザインのキャラクター『90(いち)さん』はヒゲと帽子をとると、Kさんにちからとよくてます。(H社名称に色がついてます)

〔営業部・斉藤 マイ〕

カレーの薬膳 著田島

90th Anniversary
established in 1915